

# 地域公共交通 シンポジウム in 旭川

～ 北海道における持続可能な交通体系の構築に向けて～



公共交通利用促進キャラクター  
『のりたろう』

## 日時

2017年6月12日(月) 13:00-17:00

## 場所

旭川グランドホテル 景雲(3階)

旭川市6条通9丁目



国土交通省北海道運輸局 主催



# 地域公共交通 シンポジウム in 旭川

昨年11月、JR北海道は、厳しい経営環境を踏まえ、単独では維持困難な線区を公表し、地域における持続可能な交通体系の構築のために地域と協議を行いたい意向を示しました。今後、北海道においては、鉄道、自動車、航空などの交通手段が、それぞれの適性に応じて適切な役割分担をしながら、持続可能な交通体系を構築していく必要があります。既に全国の様々な地域において、事業者、地域住民、行政が連携して地域の公共交通を支え、その維持・活性化を図っている取組事例が見られます。

そこで、北海道における持続可能な交通体系の構築に向けて、他地域での取組事例等に詳しい学識経験者、自治体職員、事業者等からの講演・発表とパネルディスカッションを通じて、皆様とともに検討する機会となるよう、本シンポジウムを開催します。

## プログラム

### 13:00 - 13:05 開会挨拶

・国土交通省北海道運輸局 次長 大立 康祐

### 13:05 - 13:10 来賓挨拶

・北海道 上川総合振興局長 渡辺 明彦 様

### 13:10 - 15:50 第1部 講演

- 話題提供①『地域公共交通における最近の動向、国の支援策について』  
国土交通省総合政策局 公共交通政策部 交通支援課長 杉山 忠継
- 話題提供②『JR北海道の現状等について』  
国土交通省鉄道局 鉄道事業課長 大野 達
- 基調講演 『受益と負担の関係から考える鉄道存廃の判断基準』  
流通経済大学 経済学部 教授 板谷 和也 氏
- 事例発表①『近鉄における地域鉄道線への取組みについて』  
近畿日本鉄道株式会社 総合企画本部 計画部長 福嶋 博 氏
- 事例発表②『平成23年7月新潟・福島豪雨から6年  
「只見線」復活に向けた福島県の取組』  
福島県 生活環境部長 尾形 淳一 氏
- 事例発表③『気仙沼線・大船渡線のBRTによる復旧』  
東日本旅客鉄道株式会社 執行役員  
総合企画本部 復興企画部長 大口 豊 氏

### 15:50 - 16:55 第2部 パネルディスカッション

- 議題『北海道における持続可能な交通体系の構築について』

#### <パネリスト>

- ・近畿日本鉄道株式会社 福嶋 博 氏
- ・福島県 尾形 淳一 氏
- ・東日本旅客鉄道株式会社 大口 豊 氏
- ・国土交通省鉄道局 大野 達

#### <コーディネーター>

- ・流通経済大学 経済学部  
教授 板谷 和也 氏

### 16:55 - 17:00 閉会挨拶

- ・国土交通省北海道運輸局  
交通政策部長 春名 史久

## 講師プロフィール



板谷 和也 氏 (いたや かずや)  
流通経済大学 経済学部 教授  
1975年 長野県上田市生まれ  
2015年に流通経済大学に着任  
され、交通政策や都市工学、交通計画を専門に、バス及び鉄軌道交通を中心とした都市内交通や鉄道政策、フランスの交通政策などの研究をしている。  
また、地域公共交通コーディネーターとして、中部運輸局管内における公共交通計画の策定に従事。